

Mランドニュース Vol.192

丹波ささ山校 令和5年4月1日発行

発行 (株)篠山自動車教習所 〒669-2436 兵庫県丹波篠山市池上569
TEL. 079-552-0815 FAX. 079-552-3940 発行責任者 井本 徹
<https://www.sasayama-ds.com/> E-mail info@sasayama-ds.com

今月の言葉

人生は感動の連続である。
感動のないのは人生ではない。

NHK 新日本風土記 より

あの日のことを忘れない

教習・教育課 南勝 宏幸

今年で、「東日本大震災」
から、はや十二年が経ちま
した。

それまでの常識を大きく
覆したあの出来事が、被災
地から遠く離れた私たちに
とって、少しずつ記憶から忘
れ去られようとしています
が、被災された方々の中に
は、大切なご家族を亡くさ
れたことの悲しみ、今なお避
難指示により元の生活に戻
れない方々がおられます。

当時、益田校職員とともに
に、日本海側経由で十六時
間かけて宮城県石巻市へ災
害復興ボランティアに参加
させていただいた私にとって、
被災現場とそこで出会ったた
人々が、今でも私の脳裏か
ら離れることはありません。

現地で気付かせていただき
た「日常生活が送れる有難さ」、
「命の尊さ」を、有縁の方々
に少しでもお伝えすること
が、私に与えられたもう一つ
の役目であると思いつけてお
ります。

三月十一日、今年も昼休
みに館内で休憩や勉強され

ている皆さんに、私の思いを
館内放送で次の言葉でお伝
えし、全員で一分間の黙祷
を捧げました。

今年で東日本大震災から
十二年という年月が経過し
ました。

この三月十一日という日が
近くと報道等で取り上げ
られます。最近ではテレビ
を全く見ないという人が増
えてきているように感じま
す。また、この日が過ぎると
話題に上がる事が少なく
なります。

十二年前のこの日、午後二
時四十六分、東北に巨大地
震が発生しました。

当時、教習中津波により
命を奪われた方も多くおら
れます。もし「今」生きてお
きになつておられたのでは
ないでしょうか。

将来を夢見て、勉強や樂
しみもたくさんあつたのでは
ないでしょうか。

当たり前にあるだろう「命」
が突然奪われる。そのよう
なことを考えながら、私た
ちは生活しているでしょうか。

ですが、十二年前のこの日
に現実として起きたことも
云ひとつない三月十九日、
丹波篠山では、春日神社秋
の祭礼に城下町を巡行する

事実なのです。そして私たちMランドもこの思いを忘れ
ないためにも、毎年皆さまと
ともに被災地に思いを寄せ
ております。

「今、生かされていること
に感謝し、人々のために自
分に何ができるか」を、考
え直す日を、今年も迎えさせ
ていただきました。

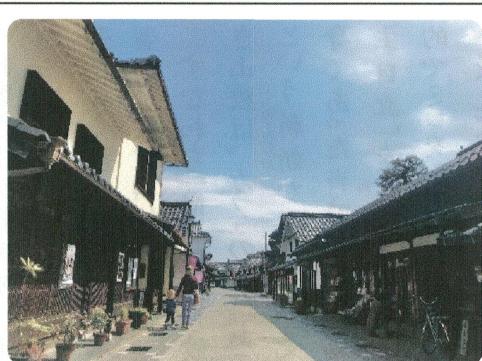
ど、私たちの日常がいつ脅か
されるものであるか分かり
ません。

被災された方々の思いをお
しゃかることはできず、口先
だけになるかも知れません。
ですが、私たちでもできるこ
とがあります。「自分が生き
ていることに感謝する」。生
まれてから寝ているときも
何をしているときも心臓は
動き続けているのです。

そして、両親から命を授
かれたこと、友人や周りの人
に感謝する。たった一言、心
の中でも「ありがとうございます」と感
謝の気持ちを忘れずに。

皆さまとこの時間を共有で
きましたことに感謝いたしま
す。

ありがとうございました。



無電柱化となった河原町妻入商家群



ゲストとともに東北へ思いを寄せました



澄みきった空にそびえ立つ「鉢」は圧巻

峰山が百十年ぶりに「鉢」を
着けて復活し、お披露目巡
行が行われました。

武士階級に対抗して、町
民だけの祭りとして発展し
た秋祭峰山巡行は、京都祇
園祭りの流れをくむ絢爛豪
華な峰山。

電線のない遠い昔には、各
町峰山には長く立派な鉢が
健在でしたが、明治時代以
降は、町内に順次電線が張
られ、鉢を着けると電線に
掛かるため、取り外して巡
行をしておりました。

このような光景は古い写
真、もしくは絵図のみでし
たが、青空の下三百五十年
前のようすを彷彿させる、
勇壮な峰山に感動と感激を
おぼえました。

次回、鉢復活巡行は五月
二十三日(火)午前十時より
一時(雨天時は展示)です。

「おかれいなさい！」

やわらぎ
燐チーム 大澤竜貴

先月号「朝のボランティア」でご紹介しました、二月ご入所の稻田真緒様と才原樂音様が三月十一日、ちょうどおしゃれなお姉さんになって帰つてくださいました。

りやすく答えてくださった
林さん。クラシックやSコース
を何度も丁寧^{ていねい}に教えてくだ
さった石橋さん。ほぼ毎朝ボ
ランティア活動を担当して
くださった寄本さん。そして
休み時間のたび話かけてく

平成十年以後、丹波篠山では少子化、免許取得者の減少に歯止めがかかるなり状況になつてきました。

カフェミコの手作りの食事を撮り、健康的な生活習慣を身に付けるきっかけにすることと、そして学科テスト「満点」を取ること。

かげさまで今年十七周年を迎えることができました。

Mランドの皆さま

最初は2週間で卒業できるのか、とても不安でしたか。

皆さまのおかげで無事卒業することができました。

自信がなく、分からないと嘆いていたときも、

優しく丁寧にご指導していただきました。

数ある教習所の中でここを選んでよかったです。

短い間でしたが、大変お世話になりました。

ありがとうございました!

編集後記

【掃除に学ぶ会】のご案内

私たちと一緒にゴミ拾いをしましょう。

4/9(日) Mランド周辺
AM8:00~9:00 担当:大澤

4/23(日) Mランド周辺
AM8:00~9:00 担当:前川

※当日はMランド集合です。(雨天中止)
ご参加いただけの方は井本までご連絡ください。

「心配いらないよ！
元気についてらっしゃい！」

一月からこの三月まで教習で頑張ったゲストたち。今、希望と不安を感じながら、それぞれ新しいステージを歩んでおられることでしょう。



多くの若者の旅立ちを見守ってきました



私たちがお待ちしております！

今月のありがとうカード

卒業生がいつでも帰れる教習所に！